

第4学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

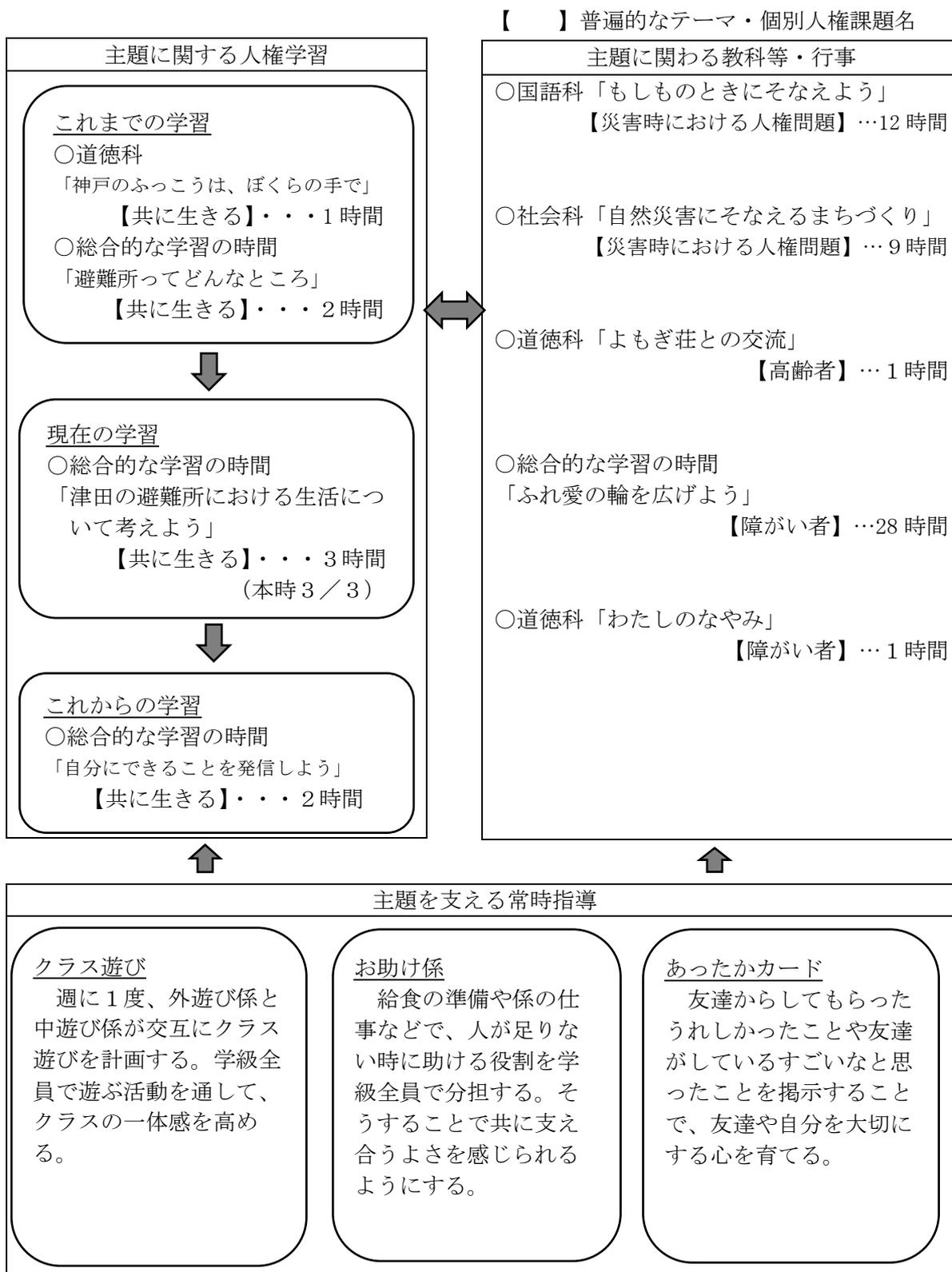
1 主題 共に生きる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

災害時に発生する様々な人権問題について理解し、誰もが大切にされ、共に生きていけるよう行動していこうとする態度を育てる。

4 指導計画



5 本時について

(1) 本時の目標

避難所において、自分にできそうなことについて友達と共に考え合う活動を通して、相手の立場に立って考え行動していこうとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 共に生きる

個人人権課題名 災害時における人権問題

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返り、本時の課題を共有する。	○ 前時に考えた、避難してくる人々の困り感を確認し、本時の課題をつかむことができるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 避難所で共に生活をしていくために、自分にはどんなことができるだろうか。 </div>	
2 自分たちにどんなことができそうかを考え、グループで話し合う。	○ 友達の意見を受け入れて、建設的な言葉を返していくようなルールを設定することで、安心していろいろな意見を出すことができるよう促す。 ②
3 グループで話し合ったことをもとにして全体の場で発表し合う。	○ 避難所の生活で互いの人権を大切にしていくためには、どんなことに配慮しなければならないかを問うことで、自分の考えだけでなく、相手の思いも考えることの大切さに気付くことができるようにする。 ①
4 本時のまとめをする。	○ 今回の話し合いから、今後心がけたいことはないかを問うことにより、普段の生活から、行動していこうとする意欲を高めることができるようにする。

(4) 評価

- ・ 自分がよかれと思ってすることだけが支援ではないことに気づき、相手の思いを考えて行動することの大切さに気付くことができたか。 【価値的・態度的側面】①
- ・ 自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えに対して建設的な発言で返したりすることができたか。 【技能的側面】②